



**シラバス参照**

タイトル「**2017年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2017年度 教養科目シラバスーわかやま未来学副専攻科目**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	地域協働自主演習 I		
担当教員	藤田 和史 西川一弘 木村 亮介 佐藤 祐介 大坪 史人 田代 優秋 富永 哲雄 友淵 貴之 金子 泰純 宮川 智子 太浦 由美 永瀬 節治		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	木 5	単位区分	
授業形態	演習	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・2年生（わかやま未来学副専攻履修者対象）		
科目名（英語表記）	Community Collaboration Self-planning Exercise I		
授業の概要・ねらい	わかやま未来学副専攻科目として、和歌山県の各地域が抱える課題を事例としたグループワークを中心とする講義です。和歌山県の地方都市・地域社会が抱える多様かつ複合的な課題を理解し、その解決策を自分たちの知恵をつかって提案します。副専攻では、4つのテーマ「6次産業化」「商品・技術開発」「移住先進地の再興」「命と生活のインフラ」を含む事例をとりあげます。地域で課題に取り組む様々な立場の方（ゲストスピーカー）からお話を聞き、現状と課題、そして今後の可能性を具体的に考えて提案します。グループワークは3回を1セットとして行い、講義を通じて4つの事例に取り組みます。		
授業計画	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	グループワークの基礎	
	3	グループワーク 1 「6次産業化に取り組む企業の柑橘類を使った商品マーケティング企画」 について現状分析	
	4	グループワーク 1 「6次産業化に取り組む企業の柑橘類を使った商品マーケティング企画」 について課題検討	
	5	グループワーク 1 「6次産業化に取り組む企業の柑橘類を使った商品マーケティング企画」 について解決策提案・プレゼンテーション	
	6	グループワーク 2 「家庭日用品の現在・過去・未来を探ろう」 について現状分析	
	7	グループワーク 2 「家庭日用品の現在・過去・未来を探ろう」 について課題検討	
	8	グループワーク 2 「家庭日用品の現在・過去・未来を探ろう」 について解決策提案・プレゼンテーション	
	9	グループワーク 3 「移住・定住地として選ばれるための和歌山の条件・課題・戦略とは」 について現状分析	
	10	グループワーク 3 「移住・定住地として選ばれるための和歌山の条件・課題・戦略とは」 について課題検討	
	11	グループワーク 3 「移住・定住地として選ばれるための和歌山の条件・課題・戦略とは」 について解決策提案・プレゼンテーション	
	12	グループワーク 4 「紀の川流域について考えよう」 について現状分析	
	13	グループワーク 4 「紀の川流域について考えよう」 について課題検討	
	14	グループワーク 4 「紀の川流域について考えよう」 について解決策提案・プレゼンテーション	
15	全体の振り返り		
到達目標	各テーマに沿って和歌山県の現状・課題・可能性を理解したうえで、それらに自らがいかに取り組んでいくことができるかを考え、グループワークを通じて提案することを目指します。		
	グループワークのプロセス・成果物 50%、 レポート(最終) 50%		

成績評価の方法	※グループワークでは自発的に与えられた役割を果たすことが高評価につながります。
教科書	指定なし
参考書・参考文献	
履修上の注意・メッセージ	<p>・わかやま未来学副専攻の必修科目です。</p> <p>わかやま未来学副専攻を修了するためには、この講義の履修が必要です。当分の間、この授業の受講をもって、わかやま未来学副専攻の登録と見なされます。</p> <p>※この講義の履修は、地域協働セミナーの履修が必須条件になります。ただし、やむを得ない事情により、地域協働セミナーを未履修の場合は別途対応の可能性がありますので、COC+推進室まで問い合わせてください。</p>
履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別途実施する副専攻科目（地域専門科目群含む）</li> <li>・「わかやま」学群科目</li> <li>・別途実施するプレゼンテーションに関わる科目（プレゼンテーションデザイン入門）</li> </ul>
授業時間外学習についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。
その他連絡事項	

